

個店支援制度の方向性等

【前提】

商業振興の目標：市民に寄り添い、地域を豊かにする商業の実現。文化、交流を創造し、都市力を高める商業の実現。

商業振興の戦略：地域商業の充実と都心商業の強化。個店、商店街、まちの維持・成長促進。

支援の考え方：「輝く個店」の芽生え、成長を促すために、やる気のある人に対して支援する

目的	No	(a) 事業	(b) 概要	(c) 課題	(d) 該当取組方策【商業振興基本計画】	(e) 検討事項	(f) H26年度の取組
1.個店魅力UP	①	大学生によるお店コンサルティング（既存制度の充実）	・これまでの取組に加え、情報発信強化	・効果的な情報発信を検討する必要がある ・対象店舗が少ない	2-②、③	・効果的な情報発信方法（情報媒体、期間等）	事業実施
	②	市民による個店モニター制度	・市内各所（商店街等で協力を得る）で、実施 ・良い店への意見を募り、共有化、公表する	・実施した際に、どのような意見が出されるかが不明	4-①	・具体的なスキーム（聞き取り項目、実施場所、期間等）	詳細検討後事業実施
	③	研修制度等の情報発信	・個店支援に資する勉強会や研修の実施について、情報発信を強化	・各機関の研修等の実施予定を一元化する必要がある	2-②、③	・効果的な情報発信方法（メルマガ、Facebook等）	事業実施
	④	商品開発支援	・個店や個店同士が共同で、商品開発を実施する際の経費について支援	・支援対象経費の選定、支援範囲を検討する必要がある	2-②、③	・具体的なスキーム ・支援対象経費、範囲の検討	詳細検討後予算要求
2.起業・創業支援	⑤	空き店舗入居者支援（既存制度の変更）	・中心市街地での空き店舗入居者に対してソフトに関する支援を実施	・家賃補助では補助金終了後に退去してしまう状況 ・改装費補助は、資産を形成してしまう	2-①	・空き店舗入居者の情報発信を実施する等の支援方法（⑦を含む）	詳細検討後予算要求
	⑥	空き店舗情報の発信	・店舗の空き情報を発信し、開業への支援とする	・幅広い情報収集	2-①	・効果的な情報発信方法（情報媒体、提供内容等） ・情報の入手方法、一元化手法	詳細検討関係機関との調整
3.情報発信支援	⑦	個店の情報発信支援	・ショップヘリテージ（市商連事業） ・魅力ある個店登録制度（静岡県主催） ・大学生によるお店コンサルティング事業 ・まちゼミ、新規出店等を対象とした情報発信	・効果的な情報発信を検討する必要がある ・関係機関との調整	4-④	・効果的な情報発信方法（情報媒体、頻度等）	事業実施
4.後継者対策	⑧	事業引継ぎ支援センターとの連携強化	・センターの取組みの情報発信 ・センター取組み店舗の支援 ・後継者バンク事業との連携	・効果的な連携方法を検討する必要がある	2-④	・具体的な連携方法（講演会の実施等）	詳細検討後事業実施

中長期的な検討を要するもの

(a) 事業	(b) 概要	(c) 課題	(d) 該当取組方策	(e) 検討事項	(f) H26年度の取組
1.新規出店者・地権者・既存事業者の間の家賃交渉の仕組みづくり	・新規出店者、地権者、既存事業者等からなるまちづくりの集まりを組織する ・まちの魅力創出の障害の一つである家賃の引き下げ	・地権者等の理解を得る必要がある	1-③	・関係者の巻き込み方 ・スキーム	検討
2.各支援制度の一元的な運用	・商工会議所・B-nest・SOHOしずおかの支援制度の一元的な運用	・現状の各機関の運用体制、支援制度を整理し、今後の運用体制、管理体制を検討する必要がある	(既存制度充実の観点)	・各機関の役割・支援制度 ・各機関の運用体制・管理体制 ・あるべき運用体制・管理体制	検討